

# 申請準備ワークシート

※細枠内：事業内容の検討にあたっての準備のための項目です。  
太枠内：申請画面で実際にご入力いただく項目です。  
(ご提出は任意です。ご提出いただいた場合は審査の参考資料とします)

## 事業名 (申請の入力項目番号54) (事業内容を端的に表してください)

リカバリーカレッジOKAYAMA

### ①取り組みたい課題 (現状はどうなっているのか?)

・精神障害者の回復において「リカバリー」という概念が重要であるといわれている。しかし、日本においては地域移行が進まず、精神障害者の「リカバリー」の実現には様々な障壁が存在している。諸外国においては、「リカバリー」の実現に向け、教育的パラダイムから提供されるリカバリーカレッジが効果をあげ注目をされている。

・2018年度よりリカバリーカレッジOKAYAMAを実施し、新たな課題が見えてきた。それは、今後もリカバリーカレッジの質を保ちつつ継続実施していくためには人材育成とネットワークの構築が最重要だということである。リカバリーカレッジの組織編成、システム構築をさらに行い基盤を整えていくこと。また、先進国イギリスから学んだこととして、人材育成には研修のみではなく、継続的なスーパーヴィジョンが要することもわかった。そのため来年度は運営委員会やミーティングの回数を増やすこと、人材育成とネットワークの構築によるリカバリーカレッジの普及に重点を置きたい

### ②原因と解決策 (どういった論理で、事業内容を考えたか?)

#### <原因>

- ・リカバリーカレッジが継続的に運営されるための組織編成が脆弱である
- ・リカバリーカレッジの質を確保するため、原則を理解した上で運営や講座を担当できる、人材が不足している。また、養成する場もない。
- ・リカバリーカレッジの運営にかかわる人のスーパーヴィジョンを行う体制がない。

#### <解決策>

- ・運営委員会の回数を増やし、組織編成やシステムの構築を整えていく。
- ・リカバリーカレッジトレーナーの養成研修を開催する
- ・全国的なリカバリーカレッジのネットワークを構築し、互いに研鑽しあう場を開催する。

### ⑤事業目的 (申請の入力項目番号56) (中長期的、最終的にどうなってほしいか?)

国際的には医療保健福祉機関だけでなく、街でメンタルヘルスの課題からの回復を学ぶリカバリーカレッジ (以下、カレッジ) が運営され、効果をあげている。カレッジは教育的パラダイムでの「コ・プロダクション (専門家と精神障害者と市民の共創)」に基づいた取組である。本事業ではカレッジが質を保ちつつ継続的運営できるようトレーナー研修の充実を図り、カレッジの組織の基盤づくり、システム構築を行う。人材育成には研修のみではなく、継続的なスーパーヴィジョン (以下SV)を取り入れる。

<助成金終了後>  
カレッジを1年間に2クール以上実施。  
全国的なネットワークが構築され、年に1回経験交流会が開催される。  
設立及び運営のガイドラインに基づきカレッジが実施される。  
持続可能な運営のために、継続的なSVが行われている。

### ③事業内容 (申請の入力項目番号58) (助成事業の活動)

#### ①リカバリーカレッジOKAYAMA運営委員会全体会・ミーティング

時 期：2020年4月～2021年3月 計15回 (各3時間程度)

場 所：岡山市内

参加者：延100名

#### ②リカバリーカレッジトレーナー養成研修

時 期：2020年7月～2021年3月 延べ4日間

場 所：岡山市内

参加者：20名 (医療保健福祉従事者、精神障害者及び家族、教育関係者 等)

#### ③リカバリーカレッジネットワーク集会

時 期：2020年7月～2021年3月 計2回 (3時間)

場 所：岡山市内

参加者：25名 (医療保健福祉従事者、精神障害者及び家族、教育関係者、その他市民 等)

### ④事業目標 (申請の入力項目番号57) (単年度の事業の成果を、何の指標で図り、どこまで達成したいか?)

#### ①リカバリーカレッジOKAYAMA運営委員会全体会・ミーティングを開催

- ・リカバリーカレッジ運営委員会全体会の実施 (年3回)

- ・リカバリーカレッジ部門別 (広報・カリキュラム) ミーティングを実施 (年12回)

- ・それぞれの部門の役割を明確にした組織図ができる

- ・講座に関して、その内容及び担当トレーナーの決定手続き等運営マニュアルができる

#### ②リカバリーカレッジトレーナー養成研修の実施

- ・昨年度作成した養成研修マニュアルをもとに、リカバリーカレッジの運営方法や講座のファシリテーションについて学ぶ研修を年に1回以上開催する。

- ・講師は昨年度トレーナー養成研修の修了者である。

- ・養成研修の参加者が20名以上で半数以上が医療保健福祉専門職以外である。

#### ③リカバリーカレッジネットワーク集会の実施

- ・全国的なリカバリーカレッジのネットワークを構築し、互いに研鑽しあう場を年2回以上開催する。

④リカバリーカレッジの実施

時 期：2019年9月～11月、2020年1月～3月（2クール開催）

場 所：岡山市内

参加者：メンタルヘルスの課題から回復することに関心のある者（児） 各クール25名以上

内 容：教育的パラダイムとして、メンタルヘルスの課題から回復するために役立つプログラムを提供  
15セッション以上実施（各セッション3時間）

⑤リカバリーカレッジトレーナースキルアップ研修

時 期：2020年7月～2021年3月 延べ2日間

場 所：岡山市内

参加者：15名（医療保健福祉従事者、精神障害者及び家族、教育関係者 等）

・スーパーヴィジョンを行う

・リカバリーカレッジネットワーク集会参加者の満足度が70%以上になる（参加者へのアンケートで調査）

④リカバリーカレッジの実施

・2クール行う

・合計40セッション以上のプログラムを提供する。

・リカバリーカレッジ事務局員を配置する。

・参加者の満足度が70%以上（参加者へのアンケートで調査）

⑤リカバリーカレッジトレーナースキルアップ研修の実施

・リカバリーカレッジトレーナーのスキルアップ研修を年に1回以上開催する。

・リカバリーカレッジトレーナーのスキルアップ研修参加者の満足度が70%以上になる（参加者へのアンケートで調査）

文字数制限（スペース含む）

③事業内容：700文字 552 ←自動的にカウントされます

④事業目標：700文字 678 ←自動的にカウントされます

⑤事業目的：350文字 348 ←自動的にカウントされます